

## 乾側をよくする会

### 1 基本データ

- 地区名 乾側地区
- 地区人口 931人 (H30.1.1 現在)
- 世帯数 333世帯
- 面積 約5.8km<sup>2</sup>
- 地区の沿革

乾側地区は、市街地の北西部に位置し、地区西端にある花山峠を境に福井市に接し、地区中央の東西を国道158号線が横断しており、大野市の西の玄関口となっている。

8地区からなり戸数約230戸で、酒米と種粳産地として有名な純農村地域である。

- 実施主体 乾側をよくする会

### 2 現状と課題

乾側地区は縄文時代から人々が住み始め、大野でも最初に開けた場所のひとつである。弥生時代や古墳時代には牛ヶ原を中心に大きな力を持った豪族が現れ、乾側地区内に多くの墓や古墳が作られた。中でも牛ヶ原の山ヶ鼻古墳群には奥越で唯一の前方後円墳があり、鉄剣や貨幣（和同開珎）も見つかっている。なお、大野盆地内の古墳のうち6割以上が乾側地区に集中している。

また、稲作が始まり、奈良時代には寺や貴族・豪族の土地である荘園が発達したが、牛ヶ原の荘園は、奈良時代には奈良東大寺領、平安時代には京都醍醐寺領として、今の大野市街地の北半分にまで広がっていた。その牛原荘には後に牛ヶ原城が築かれ、三社神社が建立された。なお、尾永見区には、稲作に縁の深い雨乞い踊りが無形民俗文化財として継承されている。

さらに、南北朝時代に築かれた戌山城は、金森長近によって越前大野城が築かれるまで、戦国時代の激動期を含め200年余りの間、大野とその周辺地域を治める斯波氏、朝倉氏の居城

として、県内2番目の多さの畝堀数と奥越最大の規模を誇る山城であり、一乗谷城の東方面の軍事拠点として重要な役割を果たしていた。

このように、乾側地区は古来、大野盆地の中でも最も歴史と伝統のある地域であり、その価値と魅力を高めるために、平成22年度から3ヵ年をかけて「みくら清水・戌山城址」及び「牛ヶ原城址・三社神社」の2コースの登山道整備を、平成25年度から28年度にかけて登山道の継続整備を含めた史跡整備に取り組んできた。また、乾側の歴史について関心を深めて貰えるようマンガ調本「乾側歴史ものがたり」の発刊や乾側地区の史跡をマップに図示した「歴史ロマンの郷 乾側」と題した乾側史跡総合案内看板を制作、そしてこれまでに整備してきた史跡やそれ以外にもたくさんある乾側の魅力をより分かりやすく紹介・案内できるようホームページとパンフレットを制作するなど地域の魅力の再確認と情報発信にも取り組んできた。

「住み続けたい、訪れたい、住んでみたい」と思えるような魅力ある地域づくりを行うには、今後、更なる地域資源の洗い直しや掘り起こしを行い、これまでに整備してきた史跡・伝統等を始めとする乾側の魅力を周知・継続発展させていくことに併せて、加速する地域の人口減少問題に対して、いかに取り組んでいくかが最重要課題となってくる。

### 3 事業の内容

#### (1) 普及啓発・伝承事業

##### ① 乾側史跡巡りウォーク

開催日時 平成29年10月14日(土)

午前9時～正午

参加者 21人

乾側の歴史や魅力への理解を深めて貰うと同時に健康と交流を目的とした「乾側史跡巡りウォーク」を地区住民を始めとする市内全域を対象に企画した。

乾側公民館に集合した参加者は、天空の城スポット⇒戌山城址⇒みくら清水 ⇒亥山(いやま)城址(日吉神社)⇒小山(こやま)城址(北御門区)の順に徒歩やバスにて移動。途中、史跡ごとに市の学芸員から説明を受けながら、約3時間かけて散策した。



ほたるの里登り口から登山



学芸員による解説(戌山城址主郭跡)

## ②ホームページの更新とパンフレットの増刷

史跡をはじめとする乾側のたくさんの魅力をもっと分かりやすく紹介して見てもらい、一人でも多くの方に乾側へ足を運んでもらえるようにと、制作した乾側魅力紹介ホームページを更新し、パンフレットを増刷した。



## (2) 登山道・史跡整備事業

戌山城址登山道の補修作業

開催日時 平成29年10月7日(土)

午前9時～正午

参加者 22人

戌山城址の登山道については、過去に登山者が登りやすいように整備を行ったが、経年劣化により、登山道があちこちで損傷しているため、乾側をよくする会員を中心に補修作業を行った。なお、登山道の補修作業については、戌山城址と三社神社・牛ヶ原城址を毎年交互に継続して取り組んでいる。



## (3) 観光促進事業

乾側レンタサイクル

電車利用の来訪者が様々なスポットに足を運べるよう、無料のレンタサイクルをJR牛ヶ原駅駐輪場内に配備しており、イベント時や普段でも利用者を見かけることがあり、乾側の観光促進の一助となっているようである。

自転車には整備した会の名前をテプラにて明記したが、雨風や日照により劣化が激しいため、「乾側をよくする会」「いぬいかわレンタサイクル」の2つのステッカーを屋外仕様にて整備した。



#### (4) 地域活力事業

##### ①第2回いぬいかわ夏まつり及び前夜祭

開催日時 平成29年8月11日(金・祝)  
12日(土)

来場者数 延べ約280人

昨年に引き続き、第2回いぬいかわ夏まつりを開催。今年度より前夜祭形式にてステージでカラオケ大会も実施した。日程を帰省者の参加を見越してお盆連休にした結果、2日間で述べ約280人の来場者があり、昨年度以上に地域住民同士の交流を図ることができた。

会場内は提灯(電球)と公民館の照明のみで、会場の雰囲気は良かったがステージと出演者が暗すぎて客側からはよく見えなかったため、来年度開催に向けて、ステージ照明を整備した。



##### ②ふれあい乾側歌謡祭

開催日時 平成29年11月26日(日)

来場者数 13人

整備したステージ照明の確認も兼ねて、公民館のカラオケ講座受講者の発表イベントとして「ふれあい乾側歌謡祭」を企画。歌だけでなく楽器の演奏ができる住民にも出演を依頼し、音楽を通じて住民の交流を図った。



#### 4 事業の成果

昨年度に引き続き、再開した夏まつりをさらにパワーアップさせつつ、これまで取り組んできた歴史遺産や史跡を活用した事業も継続して行った。

「普及啓発・伝承事業」としては、地区内外の参加者が乾側の歴史を登山により身を以て体験し、地区の魅力の再確認と発信を図ることができた。また、様々なイベント時や他の施設等にて乾側の魅力発信パンフレット「乾側のトリセツ」を配布し、乾側のみどころや歴史についての周知に努めた。

「登山道・史跡整備事業」としては、戌山城址登山道として「みくら清水登山口」と「ほとるの里丁登山口」があるが、今年度は後者の補修を地域住民とともにに行い、翌週には早速整備した登山口より史跡巡りウォークを実施した。

「観光促進事業」としては、昨年度整備したレンタサイクルの管理と事業の主旨を周知するため、「乾側をよくする会」「いぬいかわレンタサイクル」のステッカーを作成。昨年度の整備時にはテプラにて団体名を明記していたが、日差しや雨等で劣化したため、屋外仕様とした。

「地域活力事業」としては、夏まつりと歌謡祭を開催。夏まつりをお盆連休中に実施した結果、帰省者の参加もあり、初開催の前夜祭も含め昨年度以上となる延べ約280人の来場者数があった。また、こちらも初の試みとなる乾側小学校の5・6年生による出店（水風船釣り、ストラックアウト）は、企画から運営までを子どもたちで行い、当日は大変な賑わいであった。企画運営した子どもたちも、地域の大人と共に夏まつり運営に携わることで、地域住民の交流を通じ地域づくりの心が醸成され、しいては地域に住み続け人口減少対策へとつながると考える。

#### ○活動指標・成果指標の達成状況

・乾側歴史巡りウォークを実施し、地域の歴史的な魅力を再確認した。

参加者21人。

・第2回夏まつりを前夜祭を含めて開催し、2日間で約280人の参加となった。

## 5 今後の展望

地域の魅力となる素材の掘り起しが進み数が集まってきているため、それぞれの素材の磨き上げとそれを活用した事業展開を模索し、地域住民の活動参加人数の増とさらなる交流を図りたい。合わせて地区外への情報発信にも力を入れ、交流人口の増にもつなげたい。